

## 《公開用感染制御相談事例集(Q&A)》

相談事例No. 22

区分 針刺し

### 【質問】

看護師が皮下注射に使用した針で針刺しをしました。患者のB型・C型肝炎の検査は陰性ですが、梅毒の定性検査が陽性です。この後の対応をどうすればいいでしょうか。

### 【回答】

調べた範囲では、国内で針刺しによる梅毒感染の報告はありません。また、職業感染制御研究会のホームページには以下の様に示されています。

「梅毒の伝播様式は、梅毒の第1期および第2期における性交を主とする直接接触伝播（時にキス）によります。汚染された物品に触れた時の間接的な伝播もごくまれにあり、時として輸血による伝播もあります。第1期および第2期の未治療の梅毒患者の血液による針刺し切創も感染源になりうると考えられますが、感染確率等は不明です。」

そのため、感染のリスクが全くないとはいえません。梅毒に感染していなくても定性検査で陽性判定となることがあるため、定量検査を行い患者の状態を確認されるのが良いかと思います。具体的には、職員の今後の対応として、針刺し直後と針刺し後1、3カ月後に検査を行い、陰性であれば感染が起こらなかったと考えます。

引用・参考文献

1) 職業感染制御研究会 <http://jrgoicp.umin.ac.jp/index.html>

2) ICPテキスト メディカ出版 2006年